湖南運動公園の平成26年度管理状況

施設所管課	農林水産部生産流通課	
指定管理者	(一財)石川県県民ふれあい公社	
	理事長 北 村 修	
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31 日	

(1) 管理業務の実施状況

(1) 官埕未務の夫旭仏が			
業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況		
使用する者への利便の			
提供に関する業務	施設の使用支付、条件等の接通内工 ・従事員全員に対し、随時指導を実施		
近点に関する未動	・受付窓口への職員の常駐		
	利用者の苦情・意見の把握・対応		
	・利用者アンケートの実施((5)①-ア参照)		
	・ご意見箱の設置((5)①一イ参照)		
	・巡回時、利用受付時における利用者ニーズの聞き取り		
	・利用者ニーズの反映(サッカー場の環境整備など)		
	周辺地域、関係機関との連携・協同の推進		
	・向陽高校アーチェリー部の活動場所、石川県障害者スポー		
	ツ大会等の会場に施設提供することで利用を促進		
利用の促進に関する業	施設の情報提供、広報、広告		
務	・インターネットによる施設利用予約		
使用の許可に関する業	使用許可、使用料の徴収、納入		
務	・使用料の収入実績((3)参照)		
施設、設備及び備品の維	外部委託		
持管理及び修繕に関す	• 芝生管理、汚水処理施設維持管理、高圧受変電施設保守点検		
る業務	指定管理者実施		
	・小規模修繕(サッカー場トイレ窓修繕、野球場ナイター照明		
	設備修繕、野球場受電設備修繕)、グランド整備(週1回)、		
	草刈り、清掃など		
(その他知事が必要と	緊急時の対応・安全管理などの危機管理		
認める業務)	・緊急連絡網の作成、園内掲示(各運動場、トイレ、受付窓口)		
	個人情報の管理状況		
	・基本協定書に基づき適正に実施		
	施設管理者賠償責任保険への加入		
	・基本協定書に定める水準を満たす保険へ適正に加入		
	<u>I</u>		

(2) 施設の利用状況

①利用指標

· 11/11/14/1/				
指標	H 2 5 年度	H 2 6 年度	前年度比	増減理由
	(参考)		(%)	
有料利用者数(人)	17, 312	17, 036	98. 4	
有料利用件数(件)	686	688	100. 3	
使用料収入(円)	2, 161, 350	1, 957, 860	90. 6	

② 使用許可等の状況

	許可	不許可	理由
使用した件数	688	0	
減免件数	115	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

種別	人数(人)	収入額(円)	減免額	減免理由
野球場	10, 220	1, 523, 850		
サッカー場	5, 529	262, 290		
アーチェリー 場	1, 287	171, 720	168, 000	113 件:高校部活動 1 件:県障害者スポーツ大会
				1 件:北信越国体
計	17, 036	1, 957, 860	168, 000	

(4) 収支決算

(円)

収	入	支	出
管理料	10, 491, 000	人件費	2, 792, 834
利用料収入	1, 957, 860	光熱水費等	3, 276, 661
		修繕費	349, 812
		役務費	131, 571
		委託料	4, 751, 434
		その他	406, 551
合計	12, 448, 860	合計	11, 708, 863
収支差額	739, 997		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果 (平成 26 年 4~3 月実施 有効回答数 114 件)

項目		回 答		
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	34.4%	62.7%	2. 9%	0.0%
施設の維持管理	34.9%	58.7%	4.6%	1.8%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

(1 / 13/13		
年月	内容	対応
H24. 5∼H27	C 野球場使用者のファールボールに	H27 年度中に防球ネットを整備予
	よる建物損壊事故が発生。(路上駐車の車及び馬事公苑の窓ガラスを破	定。
	損。)	

H26. 5	アーチェリー場での練習時に使用団	アーチェリー場に注意看板を設置。
	体が大声を出したため、隣接する馬事	アーチェリー場使用者へ注意喚起。
	公苑で馬術競技中の馬が驚いて走り	
	出し、選手が落馬。	

- ②事故、故障等 特になし
- ③その他報告事項など 特になし

(6) 評価結果

結果	所見(工夫、改善点)
С	・利用者アンケート調査等を行い、寄せられた意見や苦
	情に迅速に対応する等、利用者の声を運営に活かすこと
	でサービスの質の向上を図っている。
В	・施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき
	適切な管理がなされている。
	・故障や修繕が必要な箇所について、日常点検により迅
	速に把握し、必要な修繕等を行っている。
В	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する説明
	や注意喚起がなされている。
	・非常時の緊急連絡網を定め、園内掲示で利用者にも周
	知している。
	・AEDも設置されており、安全対策が適切に行われて
	いる。
В	・利用者数は昨年よりやや減少しているが、アンケート調
	査を利用しサービスの維持・向上の取り組みを行ってい
	るため、今後も適切な維持管理の取り組みが期待でき
	る。
一	ВВ

〇評価基準

A(優):仕様書等に定める水準を上回っており、かつ、優れた実績をあげている

B(良): 仕様書等に定める水準を上回っている

C (可) : 概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている

D (不可): 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を期待する部分がある

〇総合評価

A (優): 適正であり、かつ、優れた実績をあげている

B (良): 適正である C (可): 概ね適正である D (不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし